

例えば、ウォルト・ディズニーが作った「美女と野獣」という作品は、人は見かけで判断してはいけないという生き方を教えています。そしてこの作品に触れた人はそれに影響を受けます。

様々な価値ある作品や情報に接して、バーチャルの影響を受けながらリアルな市民のみなさんがどんどん素敵になっていく。そんな素敵な方々が、この図書館に座っているとカッコよくて「絵」になるでしょうね。

ここはとても素敵な場所だから、「武雄の図書館には、スゴイおしゃれて行こう」というようになればいい。そうやってますます素敵な人が集まる空間になる。本を見に行くだけの図書館ではなくて、自分も図書館に置いてある本や映画と同じくらいの存在になりたい、というくらい意識を高めて、お互いが刺激し合う。そういうコミュニケーションができたら素晴らしいですね。

「知の集合点」へ

（樋渡） 代官山 蔦屋書店では、「あの場所に行ってみよう」というのを飛び越して、「あの場所の近くに住

んでみたい」という現象が起きています。おそらく武雄市でも、この図書館によって同じ現象が起きてくるでしょう。

（増田） ここで働く人も、カッコよくあってほしいですね。

（樋渡） ここで働きたい、近くに住みたい、ビジネスを興したいという人々が集まる可能性は大きいです。この図書館が、武雄市だけでなく、地方の中心になると考えるとワクワクしてきます。

武雄市長
樋渡啓祐
Hiwatashi Keisuke

（増田） 図書館に来て、何をするかですよ。ひよっとしたらここで新しいビジネスを考えたりする空間になるかもしれない。ここで勉強会をしましょうよ、とか。

もし、起業について講演を依頼されるようなことがあれば、喜んで引き受けますよ（笑）。

（樋渡） ぜひお越しください（笑）。

地方には、知の集合点、結節点がありません。武雄市の新しい図書館が、一つのロールモデルになればいいと思います。

（増田） たくさんの人が来なくなる場所にしたいですよ。それも一流の人たちの。そういう方々が集う図書館になってほしいですね。